

放射線診断科 研修カリキュラム

【科の紹介】

伊勢赤十字病院放射線診断科は三重大に次ぎ県下では比較的多くの常勤の画像診断医を擁し、伊勢志摩地域の救急医療、日常診療に伴う画像診断業務を行っています。画像診断は頭頸部、胸部、腹部骨盤、四肢、大血管など全身の多領域にわたっており、大変ですが充実感が得られ、朗らかに診療業務を行っています。

A. 一般目標

放射線診断科では画像診断の適応を理解し、実践を通して放射線診断科の診療内容を理解し、臨床診療において画像診断の果たし得る役割を理解する。一般診療において頻繁に関わる病態・疾患の診断・治療に画像診断を役立てるために、救急疾患、common disease を一定数経験する。その上で画像診断医との連携の重要性・必要性を理解する。

- 1)放射線診療が様々な職種の職員の協力の元に行われていることを理解し、各スタッフとの良好な協調関係がとれる。(態度)
- 2)正常画像解剖、各種検査の適応と限界について説明できる。(知識)
- 3)各種画像検査、疾患に応じた読影、診断報告書作成ができる。(技能)
- 4)造影剤の効果、禁忌を理解し、副作用に対処できる。(知識)

B. 行動目標

1. CT の一般的撮像原理、適応、安全に施行するための実施手順について理解する。
2. CT において造影剤の副作用を理解し、適切な対処法ができる。
3. CT にて画像解剖を理解し、異常を検出し、適切に表現、解釈して、診断報告書を作成することができる。(CT 検査画像診断報告書作成 30 件/週 程度)。
4. 画像診断報告書を作成する側を経験することで、画像検査オーダー時に留意すべきポイントを理解する。
5. 画像のみでの診断の限界を知り、オーダー医師と画像診断医のディスカッションの必要性を理解する。
6. 頻度の高い主な疾患についての画像所見を学ぶ。

C. 指導体制

1. 放射線診断科医師は指導責任者として、ローテーション期間を通して研修の責任を負う
2. 患者の診察、検査、治療に関する直接的指導は主治医(指導医)が行う。
3. 定期的に研修医の研修目標達成の進捗具合を点検し、適切に研修医に指示を与えるか直接指導を行う。

D. 研修方略

1. オリエンテーション
 - 1)研修カリキュラムの説明
 - 2)科の概要
2. 指導医・研修協力医の指導のもとで放射線診療(読影その他)を研修医も実際に行う。
3. 読影
 - ・朝 8 時 30 分頃から 17 時頃まで夜間救急分、当日分の放射線科実施の検査の読影研修を行う。
 - ・正常解剖及び正常画像所見を学ぶ。

- ・検出した所見をまとめ、解釈し、診断報告書を自ら作成する。
- ・作成した報告書について指導医の確認・指導を受け、報告書を介した意思疎通を学ぶ。

4. カンファレンス ※週間スケジュール参照

- ・朝7時30分ないし8時からの外科ないしSCUカンファレンス、毎月火曜日夕方に行われるcancerボードに可能な限り出席する。
- ・院内の他科(および他職種)合同カンファレンスに積極的に参加する。

5. その他

- 1)IVRの研修希望に関してはその内容により調整が必要になりますので気軽にご相談ください。
- 2)院内研修プログラムでの研修期間不足に関しても三重大学放射線科での研修が可能ですので気軽にご相談ください。
- 3)画像診断に関連する院外の研究会や学術集会に参加する。

【週間スケジュール】

	午 前	午 後
月曜日	外科カンファレンス CT 読影	CT 読影 血管内治療
火曜日	CT 読影	CT 読影 Cancer ボード
水曜日	外科カンファレンス CT 読影	CT 読影
木曜日	SCU カンファレンス CT 読影	CT 読影
金曜日	外科カンファレンス CT 読影	CT 読影